思い出 一つ二つ

上条　毅

都立大崎高校教諭

過ぎてみて時の流れの速さを改めて感じています。三田高校にご厄介になって、もう十五年経ちました。教員になって、五年、五年、十五年、と三つの学校を経験しましたが、何故か切りのよい数字が続き、三田高校が最長の勤務校になりそうです。勤務しはじめた頃の教職員の方々の顔や生徒諸君とのかかわりを思い起こすと、やはり遠い昔のことだった、という感はぬぐえません。当時は一学年二クラスで在校生が三百八十名ぐらいおり、とても多かったわけですが、先輩の先生のお話では、その数年前までは五百名ぐらいだった、とのことですから驚きです。人数が多かったせいもあって、当時の生徒諸君はとてもバラエティに富んでおり、高校紛争など社会状況を反影して、いろいろな方面に興味、関心を示す諸君がおりました。当然先生方も多人数で、芸術科にも音楽で専任の鈴木清太郎先生がおられた程です。先生とのかかわりでは、当時横浜郊外（二俣川）の公団住宅に住んでいた私は、大森の騒音地域に住む鈴木先生を誘って、同じ団地敷地内の分譲住宅に申しこみ、手続きはほとんど私が代行したのですが、幸か不幸か私の方が選にもれ、先生は以後その地に住むことになりました。一年程で三田高校を退職された先生は、松戸市にある聖徳学園短大の教授になられ、通勤苦も含めて激務の日々を送っておられました。それが多分原因して肝臓を病い亡くなられたのです。自然にめぐまれた地とはいえ、遠隔地通勤の原因をつくった私としては、折にふれ申しわけなく複雑な気持になります。それにしても、鈴木先生、そして広瀬先生、会田先生方と通勤を共にできたことは有難く懐かしい思い出となっています。

三田高校にご厄介になってから数年して校舎が改築され校地内の配置も一新して見違えるようになり、運動場も現在の姿になって全日制は体育祭で多摩川辺りまで行かなくてもよいようになりました。由緒あるオセンチ山は多くが残されて、心和む緑や蝉の声を聞ってくれています。昔、赤羽橋近くには大きな火の見櫓があり、オセンチ山には退治された化け狸の塚がある、と地域の歴史の本に書かれています。学校をはさんだ反対側には鬼退治で有名な渡辺綱の産湯の泉があり、オーストラリア大使館の敷地内には、大石主税をはじめ、四十七士十数名が切腹させられた場所があります。六年前に卒業した担任クラスの諸君と共に、大使館の許可を得てこの場所を見学に行ったことは、生徒諸君の多くが、さほど興味を示さず世代の落差を感じたことと合せて思い出の一つとなっています。

十五年もの長い間、非力な私が曲りなりにも勤めてこられたのは、周囲のいろいろな方々のお蔭であると、改めて感謝しております。石関先生と会長さんを中心にして、同窓会が積極的に活動され、三田高校にかかわる人達の交流が親密になっていることはとても有難いことです。現在、精いっぱい教え、そして学んでいる教職員の方々や生徒諸君の三田高校が同窓会共々確実に前進されることを願い、私も可能な限りそれにかかわりたいものと思っています。

北原奨学賞を受けて

小杉利一

昭和59年卒

卒業して既に半年余りが過ぎ去ってしまいました。日がたつにつれ、母校で過した年月が懐かしく思える今日この頃です。

今、考えてみると「本当に、やっとの思いで卒業させて頂いた」というのが正直のところ実感です。ふだん身体の弱い私にとり、自分の体調といつも相談しながら通い続けた四年間、なんとかまがりなりにも、卒業駅までたどり着いた時は、嬉しさと、安堵感で胸がいっぱいでした。

ともかく、私にとり今年は大きな節目の年であったように思われます。それと云うのもその一つに高校の卒業と大学への進学であるが何よりもこの四年間机の上の勉強はもとより、先生方はじめ級友やまわりのより多くの人に出会えた、その中で心の項を繙くことを学んだことが最も貴重な学問であったのではないかと思うことです。

出会えた総ての人が今の私の恩師であり、今日まで蔭になり、日向になり、見守って私を強く支えて下さったことを心から幸福者と感謝していることです。

そんな中でもいつもお荷物的な私などに卒業の際は突然に母校の恩師であられた北原先生の勉学奨励賞を「さずけて下さる」と伺った時は自分を疑ったほどでした。

なにせ創設されたばかりの賞でもあり、私みたいな者がいただいて良いのであろうか。と内心不安と尚一層勉強に励み、北原先生の御意志に報いられるように努めなければならないと心の引き締る新たな気持でした。

ともかく、学問とは人間形成において、何んであるかを導いて下さった先生方の熱心なお心尽しがあったればこそ今日まで歩いてこられたのです。これからもこの気持を無にせず人の和と時間を大切に明日が続く限り精一杯に頑張りたいと思って居ります。

苦節十年

昭和40年卒

多田喜久子

記録的な猛暑も去り、朝晩めっきり涼しくなりました。皆様方は仕事、読書に御精励のことと存じます。

先生方の懇切丁寧な御指導と職場の温かい御理解のお蔭で、私が三田高等学校定時制を無事に卒業させていただきましたのは昭和四十年です。既にお肌の曲り角を過ぎておりましたので、給仕、謄写印刷の仕事から事務屋に転職するのは難しいことでした。

そこで、月謝が安く、教材は数冊の本だけの簿記学校の夜間部に通い、一年半後に奇しくも日商簿記検定二級に合格しましたので、翌年より毎年八月に実施される税理士試験に挑戦することになりました。女性の受験生が少数なのに承知しておりましたが、第一回目の試験の時は、試験場の立教大学の近くで、男性に包囲されてる自分に気付き、踵を返そうかと思いましたが受験料一、〇〇〇円？のために勇気を出して受験しました。とても歯が立たず、十二月下旬に不合格の通知を受けて断念しようかと思いましたが、学校へは行かずに仕事の合間に独習を続けて、昭和五十年辛くも合格。苦節十年の間に経理職に転職したり、海外旅行に出掛けたりもしました。

合格しまして会計事務所勤務を望みましたが、経験が無いためにまゝならず、三年半前より現在の会計事務所でパートで働いてます。一昨年疾魔に襲われ、開腹手術を受けましたが、会計事務所勤務の傍ら一社の経理のお手伝いが出来る迄に休力も回復して、猫の目の様に変る税法、コンピューター、ワープロの操作等を覚えるのに追われて、読書をする時間が取りにくく持々イライラしてしまいます。

税務調査の立会い、お得意様訪問等の他、在宅勤務の可能な部分もありますので、家事や育児と両立させてます。

母校職員の異動状況

●中村十成先生（国語担当）、昭和46年就任。今回退職され千葉敬愛大学に転勤されましたが、青葉会顧問は引き続いてやって下さいます。

●上条　毅先生（数学担当、昭和44年～59年）都立大崎高等学校を日制に転出されました。

●高久孝雄（事務主事、昭和47年～59年）都立松原高等学校に転出されました。

○病院用経管チューブ食
○濃厚流動食等特別配合食品
○Food Supplement製造卸

サンコーパック株式会社

代表取締役　川上忠重　（昭和30年卒）

東京都新宿区四谷１丁目３番地
〒160　TEL.03－357－7730㈹

家庭用・業務用
クレンリネス用品専門商社
有限会社
港屋佐藤國平商店

代表取締役　佐藤道雄　（29年卒）

東京都江東区佐賀２丁目７番12号　TEL 03(643)1071㈹
名古屋市東区大幸町９－49　TEL 052 (711)8253